

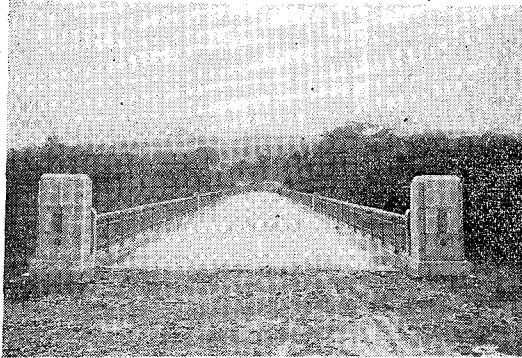
東北地方

青岩橋竣功式

青森、岩手の兩縣を劃する馬淵川に架設せられたる青岩橋は昭和九年度國直轄時局匡救事業として總工費十六萬八千圓を以て内務省仙臺土木出張所之れが施工に當り昭和九年九月起工昭和十年八月無事竣功を見るに至つた。

此青岩橋竣功式は八月十九日の吉日を卜し橋畔青森縣側に祭壇を設け極めて嚴肅裡に舉行せられた。參列せる者、祭主福田内務省仙臺土木出張所長を始め青森縣知事(代理土木課長)岩手縣知事(代理土木課

地方通信



青岩橋

長)池田内務省青森國道改良事務所主任、青森、岩手兩縣會議長、地元町村長其他來賓三百餘名に及び定刻午前十一時煙火合圖にて、神官の奉仕により莊嚴に式典を開始せられ先づ福田内務省仙臺土木出張所長の式辭より次で池田内務省青森國道改良事務所主任の工事報告、來賓の祝辭、祝電披露等かたの如く進み茲に滯り無く式を終つた。

更に煙火合圖にて渡橋式に移り神官の先行にて青森、岩手兩縣から參列の三夫婦二組は青森縣側から靜かに歩を運び續いて參列者一同目出度渡橋を完了した。當日は地方色豊かな青年の獅子舞や或は美妓の手踊、茶番等の餘興もあり折柄の秋晴に此盛典を見物せんと集つた老若男女は實に數千名に及び此の地方稀に見る賑ひを呈した。

宮城縣廳に於ける 東北六縣土木會議

宮城縣廳に於て去る八月二十八日東北六縣振興に關する土木部課長會議を開催し、一、縣道路改良方針として幹線道路のみならず培養線をも加へて改良計畫を樹てること。一、時局匡救冷害對策事業によつて改

修した縣道の維持に關する件。一、東北振興道路改良事業として市町村道の重要路線に對し、補助する件等を決定する所があつた。

山形縣下産業道路の竣工

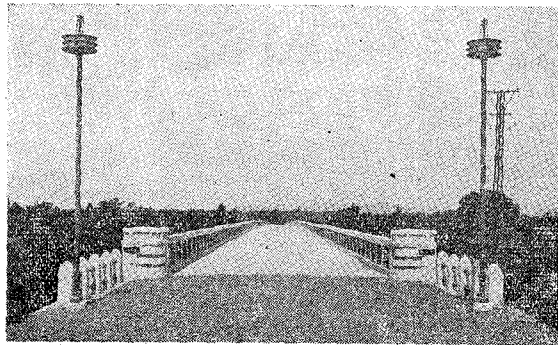
山形市と上山町を接續する國道五號路線としては一面産業道路として改築中であつたが、其鋪裝も見事に完了したので九月三日盛大な竣工式が行はれた。

關東地方

茨城縣幸久橋竣工

茨城縣那珂郡額田村と久慈郡幸久村を繋する久慈川に架する府縣道水戸會津線幸久橋は昭和九年四月十三日起工し本年八月二十五日竣工したるを以て九月三日盛大なる竣工式が舉行せられた、橋は其延長二八五・一五米有効幅員五・五米、取付道路は額田村地内五五六・〇米幸久村地内五七九・〇米有

効幅員は各五・五米である。構造はゲルバー式鐵筋混凝土丁型桁及鋼板桁で頗るモダンな橋梁である。



幸久橋

埼玉縣荒川の植木橋架設着工

埼玉縣下荒川改修に伴ふて施工する川越上尾間縣道の入間郡植木村地内入間川に架する植木橋は内務省土木局荒川河川改修事務所の設計に係る延長三一八米幅員五米鐵筋コンクリート、洪水敷地を除く流水路上には古軌條使用のプラット構桁二連造で此設計は我邦に於ての最新様式のものである。近く其の設計は土木學界に公表せらるゝとの事である。

千葉縣下野田橋の改修を急ぐ

野田越ヶ谷間縣道の東葛飾郡野田町中野臺地先の江川に架する野田橋は去大正十四年架設した木橋であるが既に橋脚間の桁が甚しく弛んで重量ある自動車の疾走は危険極まるので徐行の制札が建てられたが同地方では其の制札が恒久的にならぬ様に速に修理を望んでおるとの事である。

神奈川縣湘南大橋着工近づく

神奈川縣下湘南パークウェイとして最後に残された馬入川に架する湘南大橋は延長

六四〇米で水深部四〇〇米は鐵筋コンクリートなるも平塚市側の二四〇米は木橋なので之をコンクリート化すれば永久的橋梁となる其點が研究せられつゝあるが工事費の追加が定まれば直ちに着工し向ふ一年足らずで落成するとの事である。

北陸地方

石川縣下の道路愛護運動

石川縣羽咋郡邑知村では去七月二十日を第二同道路愛護デー施行日として一般村民千九十三人小學生徒九百三十二人青年團二百四十八人在郷軍人團百九十八人出動し府縣道本江羽咋線三十五町羽咋氷見線二里一町金澤七尾線一里五町に對し耳削り、不陸直し、溝掘り、砂利敷、雜木刈拂、崩土取除、荒石起取り等の施業を行ふたが其の成績は頗る見るべきものがあつた。又同郡加茂村でも八月十二日加茂村道路愛護デー實施日とし火打谷千路停車場線、坪野高濱線村道親右衛門線、同天谷線、倉垣宮ノ下線より

村道二十七號線に至る連絡線に對し崩壞土の取除、耳削り、溝掘り、水吐き、砂利敷不陸直し、法面の保護手當を施工した、出勤人員は村吏員を初め二百六十七人で別製手拭を冠り下の如き歌を唄ひながら相當な成績を擧げた。愛護ぶし「おまいや溝ほれわしや耳削る、そして二人で砂利を敷こう。日頃うけたる社會の御恩道路修理でむくいませう。いきな犠牲の主さんのこゝろ、わしも手つらをう赤澤産業道路を開發するは自力更生の第一歩。社會奉仕でつくした後は人にいはれぬ心地よき。人にまげずに折角やれよ愛護育ての娘やる。坂はく照る下れば加茂村愛護道路で榮えをる。此加茂村の作業は本年六月二十六日同郡道路改良會の主催で開催した映畫會で「眞心橋」と云ふ映畫に小學校兒童が非常に感動せられた結果教師の指導を待たず上級生の統制によつて自治的に働いたもので村民一般に好影響を與ふること深甚なものである。同郡志雄村に發祥した道路愛護事業は其効果の著しいのに刺戟せられ各地方に普及し九月六日には中甘田村でも村長初め村吏員が先達となつて道路愛護作業を實施し多大の

救果を收めた。

東海地方

名古屋市の中心街明

粧工作

愛知縣名古屋市中では中心街路に明粧を施して一大美觀街を出現せしめんとし縣都市計畫課で「都心整理」を計畫して居る即ち廣小路本町と中央郵便局横住吉町までを區切り南は入江町、北は廣小路とする一廓約二千五百坪は地主は都心整理第一着手として乗出したいと申込み、十五日午前九時から縣廳で縣の奥岩中村兩技師、地主側の八木平兵衛、岡谷合資牧野市左衛門、林善兵衛、關西信託後藤増平の諸氏が會見協議の結果、廣小路中央館横から入江町まで三間道路を開設しその新道路と十字型をなす鐵砲町住吉町間にも三間道路を新設することになつた。これが完成の魄には大名古屋の中心は一躍明裝美觀を實現し、夜の廣小路を俄然明るくすることにならう。

近畿地方

大阪池田間を貫く白一線

大阪府下北攝最大の幹線である府道大阪池田線が八ヶ月の歳月を七百五十五萬圓の巨額の資を投じて築造中であつた坦々十五キロに達する道路が全通した。即ち同線路は昭和二年大阪府十大放射路線の一として着工されたもので總延長一萬五千四百メートル、大阪市東淀川區長柄運河上の十三小橋が起點で三國、服部、豊中町を経て池田町をつき抜け大阪兵庫府縣境猪名川の「吳服橋」にいたるものでその幅員二十七メートルから十一メートルまで、全路線の三分の二まで歩道があり大阪市内はプラタナス神崎川以北岡町間はアカシヤの街路樹に綴られた近代的ドライブ・ウェイで運轉手諸君が口を揃へて「その直線性からいつても交通量からいつても府下隨一の快適さです」と嘆賞するだけあつてコンクリート基盤の上にアスファルト舗装を行つた上乘のもの中央部をタイド・アーチ式、兩側をゲルバー式によつた府下有數の大橋十三大橋が

二百萬圓、神崎川の三國大橋が三十萬圓、阪急神戸線及び北部貨物線上の跨線橋が各十七萬圓、石橋の阪急箕面線の跨線橋が十萬圓といふわけで、このうち池田町内の一部を除いて石橋―池田公會堂前間が最後に残されて今春來工を急いでゐたがこのほど舗装工事を終つて全線開通したものである。

大阪府下明粧の産業

道路の開通

大阪府が都市計畫十大放射路線の一として大正六年工費百八十萬圓を投じて起工した大阪市今里から中河内郡枚岡村額田警察署前に至る二里十二町十間の産業道路「大阪―枚岡線」は四ヶ年を費してこのほど完成十五日から開通した。幅員は今里から布施町まで一、七七六メートル間は十三間至乃十五間布施町から府縣道八尾、稻田線との交叉點まで一、九八〇メートル間は八間同點より枚岡村額田警察署前の終點まで五、四〇〇メートル間は六間となつてをり市部はアスファルト、郡部は全部コンクリートをもつて舗装されてゐる。

中國地方

島根縣下大社町の宇

迦橋架換

大社町の誇る日本一の大鳥居の下擬寶珠にその昔を偲ばす宇迦橋が近く鐵筋コンクリートのモダン橋に改架されることになつた。大社町では今回出雲大社參拜道路美化のため鏡川郡荒木村地内にある同町の玄關省線出雲大社驛から現在舗装してある大社神門驛前までの舗装が施されるのでこれに伴つて腐朽しつゝある同橋を改架、參道の美を一層倍加すべく計畫、過般來研究を進めるとともに、關係荒木村に對し分擔金の交渉を行つてゐたが、圓滿解決を見たのでいよいよ改架に着手することになつたもので工費は二萬三千七百圓の見込みである。

島根縣隱岐の島道路

網の整備

島根縣では鹽岐神宮造營案と併行し觀光

隱岐島の全面的開發を企圖することゝなつた。これに先だちこれが第一工作たる道路網の整備に着手することゝなつたが、現在

隱岐島の道路網は五箇—西郷港線、中村—都萬港線、海士—浦郷線、松江—海士線、海士—知々井港線の五線がその主なるものであるが隱岐神宮の建設地たる御火葬塚に通ずる松江—海士線は神宮參拜道としてとくに森蔭と道路美を兼備させるため路面舗裝と沿道植林を行ひ、職員も自動車の行違ひの出來得る程度のもとし、參拜道の完成を待つて残り四線の根本的大改修を行ひ、將來は五線を結ぶ隱岐島觀光ドライブウエーを完成せんとする素晴らしい内容のものである。

岡山縣加茂橋の竣工

岡山縣吾田郡神庭村と勝田郡瀧尾村境の加茂川に架橋の縣道岡山、鳥取線加茂橋は總工費二萬八千餘圓で昨年九月一日から架替工事中であつたが今回見事に竣工した。新橋は延長八十一メートル〇六、職員五・五〇メートル、鐵筋コンクリートのゲルバース式のモダンなもので作北の山境に珍らしく

偉觀を呈しゐる。

四國地方

德島市幹線道路の鋪裝工事

德島縣では德島市内幹線路である國道二十一號二十二號兩道及縣道の鋪裝工作を企て、工費四萬三千餘圓を以て着工することとなつた。有名な惡道路も之れに依つて面目を一新することであらう、其施工間は下の通である。國道二十一號線—德島橋より吉野川大鐵橋に至る間、國道二十二號線—佐古町一丁目より同九丁目に至る間、縣道德島停車場德島港線—德島驛前より德島橋に至る間、縣道鬼籠野德島港線—富田橋より德島港（終點）に至る。

香川縣の縣道改修計畫

香川縣で交通の狀態に鑑みる所があつて十ヶ年度間繼續事業として五百萬圓を投じ指定縣道十三線を改修することとなつた。其路線名は松山—高濱線△松山—德島線△

松山—宇和島線△宇和島—宿毛線△松山—今治線△今治—壬生川線△松山—高知線△壬生川—小松線△大洲—八幡濱線△八幡濱—同港線△宇和島—同港線△宇和島—中村線△今治驛—同港線である。

高知縣下の道路清掃工作

高知縣高岡郡東津野村青年處女團芳生野支部は協力一致益々會の發展を來しつゝ部落内の事は何事によらず率先その範を示し部落民を感動せしめて居る今回秀平守氏は縣道改修社會奉仕を發起し上岡團長以下處女會員等の賛成を得直ちに監督桑原氏に申出で團員は炎熱燒くが如き去る十五日午前五時より午後五時まで汗みどろとなり工夫下村常幸氏受持區内の縣道越知、宇和島線東津野村奈路、アゼヤの二キロ間の雜草刈取その他の努力に奉仕しその誠意には村民は非常に感謝して居る。

高知縣下道路改良の先

覺者田邊知事の建像

明治十六年三月高知縣縣令として赴任し同十九年初代の知事となつた故田邊良顯氏

は其の五ヶ年間の在職中縣產業の開發には先づ交通の便を披かねばならぬと考へ道路改良に心血を注ぎ現在利用されつゝある國縣道は殆ど同知事が手を染めたもので五十年後の今日までも縣民は田邊氏の偉業を徳としてゐるが特に恩惠を被つた佐川、窪川兩町長はじめ近郊町村長らが發起となり銅像建設の議を進めつゝあり、縣當局でもかうした縣民の聲に動かされて協賛することゝなつた。故實の遺徳を顯彰する計畫は寔に縣民の美談である。

九州地方

佐賀縣の國道工事進捗

佐賀縣下東西貫通國道工事はいよいよ本年度をもつて終了をつけ目下佐嘉神社、珍の山間の工事最中であるが佐嘉神社赤松橋間の總幅員は二十メートルでお濠側は約一間の傾斜をもつてその裾を美麗な玉石張りとする計畫、二十メートルのうち北側歩道三メートル、車馬道十五メートルで残り五メートルの歩道のうち外側一メートル二〇

にはローンを植込んでそのうへ公孫樹などを植樹する豫定になつてゐるからこの南側歩道は車馬道側の街路樹にはさまれた綠蔭濃き絶好のプロムナード・ウェイとなるわけ若人のそゞろ歩きにはお銚へ向きの並木道であるまた歩道はコンクリート・プロツクで舗装されることになつてゐる。

滿洲地方

國道の放射網の完成近し

滿洲國道局で施行中の新京を中心とする國道は新京、吉林線、新京、伊通線、伊通公主嶺線、公主嶺、懷德線および新京をめぐる環狀道路の五線であるが、特に國都新京と水郷吉林とを結ぶ新京線はその延長約百キロ、道路幅員七メートルの豪壯なもので目下舗装工事を急いでゐるが工費百萬圓に達し、全滿第一を誇つてゐる。かくして新京を中心とする放射國道網は着々として整備せられ更に明年度以後においていづれも完全なる舗装により遠からず世界各國に比肩し得ることとなるであらう。

「今の青年に元氣がひどく銷沈して居るといふ事を聞くがどうしても青年には信ずる所があつて人の見ざる所に恐れ聞かざる處に憤むやうに、純潔でなければならぬ人の見る見ないに拘はらず自分の信ずる所によつて行ふといふ事ではなければならぬ、勉強すべき時は勉強し、爲すべき事はどんな故障があつても爲すのであるといふやうな心があつたならば元氣が銷沈する筈はないのである、畢竟するに何か本に於て缺ける所があるからこそ、さういふ事が現れて來るのであらうと思ふ、然らば其本となるものはいへば信念即ちそれであつて是れが人に動かすべからざる強味を興へるのである。」

(床次著歐米小感の一節)